

社長メッセージ



安全への「変わらぬ決意」を原点に、 鉄道を核として西日本の発展を支え続ける それが私たちの使命

西日本全域にわたる鉄道ネットワークを有する社会インフラ企業グループとして、西日本エリアの安全で便利・快適な暮らしと、社会、経済の発展を支え続けていくこと。社会環境がどのように変わろうとも、私たちJR西日本グループが担う使命です。

その大前提は、鉄道の安全です。「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」という変わらぬ決意、その反省と教訓を原点に、鉄道の安全の確保を最大の使命として追求し続け、何よりも優先することが、私たちの根幹であり、価値の源です。

鉄道ネットワークを核に、その強みを発揮できる創造事業との相乗効果により、地域の発展を持続的に支え、さまざまな社会課題の解決に貢献

していく。こうした期待にお応えすることが、私たちJR西日本グループの事業にかかわる者全員の誇りであり、喜びです。

本レポートでは、私たちの価値観や考え方、取り組みと成果・課題、そして将来への構想について紹介しています。私たちの使命と提供価値をご理解いただき、皆様との協創、共生を通じて、当社グループが担う使命を持続的に果たし、長期的な成長を実現していきます。



変化の加速を踏まえ 「JR西日本グループ中期経営計画2022」を見直し 変化対応力を高め、社会のニーズに応えていく

新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループは経験したことのない極めて厳しい状況にあります。「社会インフラ企業としての使命を守る」「お客様や社員の安全を守る」「社員の雇用を守る」「サプライチェーンを守る」という4つの基本方針の下、難局の克服に取り組んでいます。

このたび、「JR西日本グループ中期経営計画2022」の見直しを行いました。

自然環境や社会の先行きが見えづらい中で、社会インフラ企業グループとしての使命を果たし続けていくため、早期に財務基盤を回復することが不可欠であり、集中的に取り組めます。併せて、恒常的なご利用

の減少下においても、お客様から安心、信頼していただける安全と、満足いただける価値を提供し続けられるよう、とりわけ鉄道のコスト構造を改革していきます。

人々の価値観、行動様式、働き方など、暮らしの基本的なところが大きく変容する中、新しい生き方や豊かさへの希求に機動的に応えていくため、事業そのものを見つめ直し、私たちが提供する価値をとらえ直します。事業モデルや組織、仕組み、人財育成のあり方などを総点検し、デジタル化による業務変革などを通じて変化への対応力を高め、イノベーションにも挑戦しながら、事業運営やサービス提供のあり方を社会のニーズに適応させていきます。

再認識した役割、使命 志高く目標へ挑戦し、地域と共に成長し、 持続可能な社会づくりの一翼を担う

コロナ禍への対応を通じて、私たちの事業が将来にわたり社会が健全であることを基盤としていること、そしてそのような社会を目指すSDGsに直結する自らの役割を、あらためて認識しています。

私たちは、地球環境に配慮し、「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会づくり」を通じて、地域の暮らしを支え続け、地域経済の復活・活性化を後押しする大きな使命を担っていると考えています。

SDGsが私たち企業に求めているのは、各々の得意を活かしながら、社会課題起点で志高く将来を構想し、バックキャストで目標へ挑戦することです。この「志高

い構想」と「目標への挑戦」が、機動的なイノベーションの推進エンジンとなり、地域の皆様と共に目指す、西日本地域の持続的発展、均衡のとれた豊かさの実現に通じ、当社グループの持続的成長につながるものと考えています。

ステークホルダーの皆様との協創により、私たちならではの新たな価値創造を実現し、持続可能な社会づくりの一翼を担っていきます。

代表取締役社長

長谷川 一明